

京都やましろ 旅のたより 7月号

創刊第2号!

7月の「旅のたより」は

1～3面 やましろミュージアムめぐり

3面 旬のイベント情報

4面 花空間 けいはんな

編集・発行：京都府山城広域振興局 商工観光室

〒611-0021京都府宇治市宇治若森7-6 TEL 0774-21-2103

E-mail : yamashin-no-shoko@mail.pref.kyoto.jp

インターネットでも御覧いただけます

<http://www.pref.kyoto.jp/yamashiro/topics/>

やましろミュージアムめぐり アサヒビール大山崎山荘美術館

絵のように美しいミュージアムへ行きたくありませんか？合戦で有名な天王山にあります。平成8年4月にオープン、来年で10周年。年間約10万人の来館者があり、今年の秋頃に100万人目のお客様をお迎えできそうです。



【学芸員さんにインタビュー】

学芸員の^{すぎうらみのり}杉浦美紀さんにお聞きしました。(インタビューは6月中旬の快晴の日に実施しました。)

まだ朝早いのに、たくさんお客様が来ておられますね。

咲き始めた睡蓮の花を見に来られる方が多いのではないのでしょうか。当館ではモネ「^{すいれん}睡蓮」の連作を展示していますが、庭の池にも睡蓮があります。睡蓮の花は5月末から9月末頃まで、長い期間にわたって見られます。

7月6日からは「睡蓮2005～花ひらく水辺にて～」と題する展覧会を開催します(9月25日まで)。モネの連作に加え、現代の作家、内藤礼氏の作品等を組み合わせて展示します。



本館の建物(大山崎山荘)は、どういうイメージで作られているのでしょうか。これはイギリス風なのですか。

この建物は、加賀正太郎氏という実業家の山荘でした。建物の基本的な設計は、加賀氏が自分で行っています。基本的にはイギリス中世のチューダー様式に基づいており、木組み、白い壁、タイルなどに様式の特徴が典型的に表れています。しかし、一方で、日本の趣を残している部分もあります。

山荘が加賀氏の手を離れてからは建物の荒廃が進み、90年頃、山荘を取り壊してマンションを造ろうとする計画がありました。しかし、建物を保存してほしいという周辺

住民等の希望により、アサヒビール(株)が建物と敷地等を、京都府がその周辺の土地を購入して、現在見るような形に整備されました。

所蔵品は、「民藝派」の陶芸品と、印象派の絵画が中心ですね。「民藝派」について教えてください。

所蔵品は約1000点。その大半は、アサヒビール(株)初代社長だった山本爲三郎氏が収集した「山本コレクション」です。「民藝派」の芸術家が作った陶磁器等が中心で、本館に展示されています。

昭和初期の藝術運動である「民藝運動」を推進した、思想家の柳宗悦^{やなぎむねよし}、陶芸家の河井寛次郎、濱田庄司等を「民藝派」と呼びます。「民藝」という言葉は「民衆的工芸」を意味する造語として、彼らが作ったものです。この時代には工業化が進み、大量生産された製品が多く出回るようになっていました。これに対して、無名の職人が日常の修練の中で培った伝統的技術によって作る雑器の、力強い美の重要性を主張したのが「民藝派」の人たちです。

山本爲三郎氏は、この「民藝派」の芸術家たちを支援して、彼らの作品をたくさん購入し、日常的に使用していました。当館の「山本コレクション」は、美術館の開館時に、御遺族より寄贈されたものです。

印象派は、日本で特に人気があるのでしょうか。

そう思います。人物画や風景画が多くて親しみやすいのと、色彩が日本人になじみやすいのだらうと思います。

当館の印象派絵画は「山本コレクション」ではなく、もっと近年にアサヒビール(株)が購入したもので、安藤忠雄さんが作った新館に展示されています。新館は、最初からモネの「睡蓮」を展示することを念頭において作られ、安藤さんは「地中の宝石箱」と呼んでいます。宝石とはモネの絵のことです。

来館者の方に見ていただきたい点は、どんなことですか。

この美術館の大きな見どころは、自然環境と建物、そして展示されている美術品、の三者の調和ということだと思います。ですから、同じ美術品でも町中の白い壁の中に展示されているのとは、かなり違う感覚で受け止められるのではないのでしょうか。来館者の方には、町中の喧噪を離れて、心地よい空間と時間を十分に味わっていただきたいと思います。



【御案内】

- ・住所等 〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町銭原5-3
TEL：075-957-3123（総合案内。おかけの際は間違いのないように）
- ・開館時間 午前10時～午後5時（最終入館は午後4時30分まで）
- ・休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）
- ・入館料 一般：700円（20人以上の団体：600円）高校生：500円（団体：400円）
小・中学生：無料 身障者手帳をお持ちの方：300円
前売り：600円（当館の窓口及びJR「山崎駅」みどりの窓口にて販売）
- ・アクセス JR京都線（在来線）「山崎駅」または阪急京都線「大山崎駅」から徒歩10分
駅から無料シャトルバスが運行されています。（身障者の方・高齢者の方優先）
詳細はホームページ等を御覧ください。 <http://www.asahibeer-oyamazaki.com/>
美術館には専用駐車場はありません。駅の近辺に町営駐車場があります。

アサヒビール大山崎山荘美術館の周りの見どころ

この美術館の周辺には歴史好きの方には見逃せないものがたくさんありますが、紙面の都合により、今回は2つだけお知らせします。

宝寺（たからでら。正しくは「天王山宝積寺」）電話075-956-0047

美術館の裏の道を登っていったところにあります（美術館の門の前に案内が出ています）。開祖は奈良時代の僧行基（668～749）。このお寺は「本尊十一面 観世音菩薩」「三重塔」「仁王門」「金剛力士像」等々、文化財の宝庫です。

中でもお勧めは、鎌倉時代の傑作「閻魔大王と眷属御影」。まさに「怒髪天を衝く」という表情の閻魔様を中心とする、緊張感溢れるリアルな5体の彫刻です。以前、京都国立博物館で展示されていた時期があり、同館で御覧になった方も多いと思います。

（「閻魔大王と眷属御影」「本尊十一面 観世音菩薩」拝観料 大人400円ほか）

妙喜庵（みょうきあん）電話075-956-0103

JR山崎駅前にあります。臨済宗東福寺派のお寺で、室町時代に開かれました。連歌俳諧の始祖として知られる山崎宗鑑の隠棲地とも伝えられています。

この妙喜庵には、千利休の作と伝えられる茶室「待庵（たいあん）」があり、国宝に指定されています。拝観希望者は、往復はがきで御希望の日の1ヶ月程度前に申し込む必要があります（志納金として一人1,000円以上必要）。阪急「大山崎駅」そばの「大山崎町歴史資料館」には、この「待庵」の複製が展示されています。

第13回木津川やまなみ国際音楽祭

とき 平成17年7月30日(土)・31日(日)
ところ 南山城村文化会館(07439-3-0560)
(JR関西本線「大河原駅」下車、徒歩5分)



南山城村は京都府唯一の村。三重県、滋賀県、奈良県の県境に接しています。村では、木津川を望む位置に建られた南山城村文化会館（やまなみホール）において、平成5年から毎年「やまなみ国際音楽祭」を開催。今年も、金昌国氏（指揮者）を中心に約40名の音楽家達が、2日間にわたり熱演を展開します。

旬のイベント情報

- ・ 7月17日 高良社祭(太鼓まつり)
～18日(八幡市・高良神社
八幡市商工観光課
075-983-1111(代))
- ・ 7月23日 泉橋寺地蔵祭り
(山城町・泉橋寺
0774-86-2426)
- ・ 7月24日 地蔵祭り
(山城町・法蓮寺)
- ・ 7月31日 木津川納涼大会(花火)
(木津町商工会
0774-72-3801)
- ・ 7月31日 夏越の祓 茅の輪くぐり
(向日市・向日神社
075-921-0217)
- ・ 8月6日 笠置夏まつり花火大会
(夏まつり実行委員会
0743-95-2159)
- ・ 8月10日 宇治川花火大会
(宇治市観光協会
0774-23-3334)

京都府花と緑の公園 「花空間 けいはんな」 リフレッシュオープン！

昭和61年の開園以来、利用者の皆様に親しまれてまいりました「京都フラワーセンター」は、去る4月29日に「京都府花と緑の公園 花空間 けいはんな」と名称変更し、リフレッシュオープンしました。

民間企業等の協力を得てガーデニングコーナーを設置した他、園内の販売スペースを拡充し、園芸教室等の体験型の取組を充実しました。また、駐車料金を無料としました。

ゴールデンウィーク中はミニコンサート等の記念行事を行い、多数の来園者の方で賑わいました。

園芸のお好きな方や、天気の良い日に家族でのんびり過ごしたい方、どうぞお立ち寄り下さい。



【御案内】

- ・(所在地等) 相楽郡精華町北稻八間大路84
電話0774-93-0811
- ・(開園時間) 午前9時～午後5時(3月～10月)
午前9時～午後4時(11月～2月)
入園は閉園の30分前まで
- ・(入園料金) 大人500円
子供(4歳～中学生)250円
(団体割引等あり)

- ・(休園日) 毎週木曜日(その日が祝日にあたる時は翌日。ただし、4・5・10月は無休) 年未年始(12月28日～1月4日)
- ・ペットを連れての入園は御遠慮いただいています。



【交通アクセス】

・(電車)

近鉄京都線「狛田駅」、JR片町線(学研都市線)「下狛駅」
下車 2.5km 徒歩35分

・(タクシー)

近鉄京都線「三山木駅」または「新祝園駅」
JR片町線(学研都市線)「三山木駅」又は「祝園駅」
下車 約5km

・(自動車)

京奈和自動車道 精華下狛インターから1km、2分

・(精華くるりんバス)

近鉄「新祝園駅」・JR「祝園駅」から運行
(7～8月、12～3月は1日2本、それ以外は1日6本)
・その他の詳細は、施設へ直接照会をお願いします。

